

九州北部豪雨災害でのTEC-FORCE派遣

【関東地方整備局による支援】

- **被災直後に道路の通行不能区間を調査**
⇒法面崩落、流出土砂や流木の堆積により、通行不能な個所を調査し、通行不能区間の情報を市町村等に提供。
- **集落付近の山林斜面の変位状況調査**
⇒山腹斜面の変位や斜面安定性を確認し、自治体の避難判断に資する情報を提供。
- **災害復旧の方法などの技術的アドバイス**
⇒大規模法面崩落や橋梁等の重要構造物の被災について、自治体へ復旧方法等の技術的アドバイスを実施。
- **災害復旧申請に必要な被災直後の状況調査**
⇒広範囲で多様な被災状況について、ICT技術を用いて早期に調査し、自治体が行う災害復旧申請の基礎資料となるデータを整理・提供。
- **散水車による粉塵防止作業**
⇒朝倉市内において粉塵防止のための散水作業を実施。



土砂流出・流木調査



斜面変位調査
(住民からの情報による)



UAVによる砂防ダムの
堆砂状況調査

※ 関東地方整備局は、7月6日から7月24日までの19日間で、23班、83人(のべ440人)のTEC-FORCを派遣

■ 気象状況

台風第3号及び、平成29年7月5日から6日にかけて対馬海峡付近に停滞した梅雨前線に向かって暖かく非常に湿った空気が流れ込んだ影響で、記録的な大雨となった。

■ 本局の体制(応援)

平成29年7月5日(水) 注意体制(TEC派遣準備) ⇒ 7月6日(木) 警戒体制(TEC派遣) ⇒ 7月24日(月) 注意体制(TEC派遣終了・帰還) ⇒ 8月18日(金) 体制を解除(災害対応機械帰還)

■ 事務所の体制(応援：最大時)

警戒体制：1 事務所(関技)

注意体制：10 事務所(江戸川、荒川下流、京浜、利根砂防、東京国道、相武国道、川崎国道、横浜国道、常陸河川国道、甲府河川国道)TEC派遣事務所



朝倉市での散水作業